菊地広隆
（創政会）

菊地議員の動画はこちら

質問項目

- 港湾振興について
- 所信表明について

港湾振興についての市民の認知度は

産業雇用の分野で最も関心が高い

議員　**港湾事業の活性化により、市民にもたらす効果は。**

産業振興部長　港湾は船舶の停泊、船員の休息からなる、経済波及効果はもちろんのこと、多くの作業者や関連業種に雇用の場を提供し、地域経済に寄与している。港湾で積み卸しされる荷物は、製造業における仕入れ原料や出荷製品、小売業における販売製品、農林水産業において集荷される農作物、水産物及び加工品さらにエネルギーとして利用される燃料など広く地域の生活や企業活動を支えている状況こそ最大の効果であると考えている。

議員　**港湾事業について市民の認知度と理解度は。**

産業振興部長　コンテナ取扱量の増加に伴い、テレビ、ラジオ、新聞で取り上げられ広く多くの方々へ港湾利用の啓発活動につながってきていると認識している。市内では小学校社会副読本「わたしたちの釜石」に「くらしを支える釜石湾」と題した特設ページを開設して市民の方々の認知度、理解度の向上に努めている。ひきつづき各種メディアやセミナー等を通じた、効果的なプロモーション活動を展開していきたい。

議員　**地域医療の充実における短期的な観点からの具体的な対策は。**

市長　令和2年度からの循環器内科や脳神経外科の医療提供体制の見直しにより、令和3年度には、県立大船渡病院への救急搬送件数が急増した。

　しかし、現在は、常勤医師が増員され、体制が強化されたことで、本年度における10月末現在の県立大船渡病院への脳疾患、心疾患別の救急搬送件数は、前年度同期比で、脳疾患では32％減の86件、心疾患では60％減の11件と搬送件数は減少しているものの、脳疾患の搬送件数は依然として高い件数となっている。

　この現状を踏まえ、県立釜石病院の医師確保については、県立釜石病院の安定的な医療提供体制が確保されるよう、常勤医師の適切な配置と診療科の充実を求め、県及び県医療局に対し継続して要望を行っていく。

　また、生活習慣病の予防、健康増進を図る事業などに積極的に取り組んでいく。

釜石港のガントリークレーン